

＊ 展示室でのお願い ＊

展示室の作品（絵や彫刻）は、「みんなのたからもの」。
作品を大切に守り、みんなで展覧会を楽しむために、
次のことに気をつけましょう。

＊ 作品にさわらない



作品を指さしたり、持ち物で指し示したりしないようにしましょう。額やケースにもさわらないでください。

＊ カベにもたれない



壁をゆらしたり汚したりしないことも、作品や、気持ちのよい会場を守るためには大切なこと。壁に手をついたり、たたくのもやめましょう。

＊ はしらない



作品やほかの人にぶつかったら大変です。

＊ なにかを食べたり
飲んだりしない



作品を汚したり、ほかの人の迷惑になります。飲みもの、食べものに集まる虫も作品の天敵です。

＊ にもつは
ロッカーに



大きな荷物やリュックサックを、作品やほかの人にぶつけてしまうことのないように、また、ゆっくり鑑賞するために、展示室には身軽になって入りましょう。

＊ メモはえんぴつで



ペンのインクやシャープペンシルの芯が作品に飛んでしまったら大変です。消しゴムも使わないようにしましょう。会場のスタッフが鉛筆をお貸しします。

＊ 写真撮影は係の人に
聞いてから



つくった人の権利（著作権）や、もっている人の権利（所蔵権）を守るため、撮影できない展示や作品があります。強い光は作品を傷めるので、撮影する場合はフラッシュは使わないでください。

＊ 作品を見ている人の
前をよこぎらない



ほかの人の鑑賞をさまたげない心づかいも、美術館を楽しむためのマナーです。

＊ 声の大きさに
気をつけて



作品について感じたこと、見つけたことを話しながら鑑賞すると、なお楽しいですね。でも、声の大きさには気をつけましょう。

さまざまな事故を未然にふせぐため、また地震や火事などの緊急時に、会場内のスタッフが声をかける場合があります。その際はスタッフの指示に従ってください。